助成金を利用したことがありますか？

市民活動が活発に行われるようになると、わたしたちの暮らしは豊かになります。助成金は、市民活動団体が知恵を集めて自分たちの思いを実行に移すときに助けになるもののひとつです。

情報はここにあります！

助成金情報を年間を通じて、まとまった形で発信しているサイトがあります（下記参照）。また、各市にある市民活動（支援）センター、市民協働センターなどの名前の市民活動を支援する施設のホームページでも情報を見ることができます。そして、各センターには助成金の主催団体からチラシ・申請書類が届いています。小平市内の公共施設に置いてある情報紙「連」（NPO 法人小平市民活動ネットワーク発行）にも毎月、助成金情報が掲載されます。

助成金申請にあたっては、団体内の合意や何枚もの申請書への記入、必要書類の準備などがあるので、十分時間をとって進めることをおすすめします。助成金の中には、事前説明会・相談会を設けているものもあるので、活用されるとよいでしょう。（事前説明会への出席を申請の条件にする助成金もあります。）最近の傾向として、子ども・子育て支援対象の部門の数が増えています。また、IT 関連と当事者グループ・セルフグループ対象の助成も増えています。

◆東京ボランティア・市民活動センター（東京都社会福祉協議会）URL▶http://www.tvac.or.jp
◆シーズ・市民活動を支える制度を作る会（NPO法人）URL▶http://www.npoweb.jp
◆公益財団法人 助成財団センター　URL▶http://www.jfc.or.jp/

市内の団体が利用したことがある助成金・補助金

◆草の根育成助成
公益財団法人　草の根事業育成財団　TEL▶042-321-1132　URL▶http://www.kusanoneikusei.net/
「医療・福祉分野」「スポーツ分野」。財団の事務所が市内にあることから、市内の市民活動団体に知られている制度です。受付は 5 月頃。

◆社協の地域福祉活動助成金（歳末たすけあい地域福祉活動募金）
こだいらボランティアセンター（小平市社会福祉協議会）　TEL▶042-346-1424
URL▶http://www.syakaifukushi.kodaira.tokyo.jp/
担当者が 2 人になったので、相談体制が手厚くなりました。受付は 1 月頃。

◆広域的市民ネットワーク活動支援制度／広域的市民ネットワーク活動等事業助成制度
公益財団法人　東京市町村自治調査会事業部企画課　TEL▶042-382-7781
URL▶http://www.tama-100.or.jp/
「広域的」とは、団体の活動が複数の市で行われることを意味します。活動支援と事業支援があります。説明会は11月頃。

◆小平市市民活動支援公募事業
小平市役所　市民協働・男女参画推進課　TEL▶042-346-9809
市民活動団体やボランティア団体などから、公益的な事業を募集して経費の一部を市が補助する制度。活動実績 3 年未満の立ち上げ団体は経費の全額（上限10万円）、一般団体は経費の 2 分の 1（上限30万円）が補助されます。立ち上げ団体も一般コースの応募ができます。受付は 3 月中旬。

◆小平市市民学習奨励学級
小平市中央公民館　事業担当　TEL▶042-341-0861
市民団体が講座を企画・運営する時に役立つ制度です。説明会に出席することが応募条件です。1 回コースと 5 回コースがあります。続けて応募することはできません。説明会は 5 月頃。

はい！ あります！

『みんなでつくる音楽祭 in 小平』

副実行委員長の三浦慶太さんは昨年10月にヤマハ音楽振興会の助成金を得るため申請をしました。ヤマハ音楽振興会の助成金は地域音楽活動支援のためのもの（演奏活動や創作活動を地域への音楽普及や音楽文化向上の視点で取り組み、成果を上げている音楽グループ、または団体への支援）。金額は、1件に対し上限20万円（返済不要）。応募書類は、地域音楽活動支援申請書（ダウンロード）と映像資料。友人のアドバイスでこの助成金のことを知ったそうで、「モロコシボーイズ」としても小平市内外などで音楽活動をしている三浦さんが申請しました。

募集締め切りまで半月ほどしかなく、映像資料を準備するのが大変だったそうです。音楽祭の実行委員が猛スピードで映像を作成して提出、1月中旬に助成金（15万円）の受賞が決まりました。

『ほっとスペース さつき』

誰もが気軽に立ち寄れるコミュニティ・サロン「ほっとスペースさつき」は当初 1 日100円の利用料と 1口1000円のサポーターの支援で運営されていましたが、平成 25 年度に草の根事業育成財団から助成金 8 万9000円を得ています。これは、さつきを運営する世話人の一人がボランティアに行っていたケアタウン小平で、草の根事業育成財団が事業の経費の 50%（上限 50 万円）を助成してくれると聞き、「世代間交流を促進するコミュニティ・サロンの運営」と「地域の居場所づくりの支援者育成の経費 1 年分を記した書類」を財団に提出して得たものだそうです。平成26年度には、「世代間交流を促進するコミュニティ・サロンの運営の経費」を提出して助成金 3万4000円を得ています。平成27年度はさつきの事業を高く評価した小平市社会福祉協議会から 10 万円の助成金が出たので、草の根事業育成財団には、「地域の居場所づくり支援者育成の勉強会の経費」を提出しているそうです。

◆◆◆ あすぴあのつぶやき「補助金について」◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

グループを立ち上げて市民活動をスタートするとき、活動内容を知ってもらうためのチラシやリーフレット作成の費用、企画したイベントに呼びたい講師への謝礼などは高いハードルです。小平市市民協働・男女参画推進課市民協働担当では、活動実績 3 年未満の団体のための補助金を設けています（上限10万円）。難しい応募書類も、わかるところだけ書いて、あとは窓口で相談しながら記入でき、何回でも気軽に相談することができます（要電話予約）。収支計画書の支出の項目は、必要になるかもしれないので、すべてに予算額を入れます。例えば、チラシ・リーフレットの印刷製本費は、印刷所に頼むことも考えます。見積もりは無料ですし、ネットでもわかります。そのデザイン料も必要です。交通費も必要な人数で行くことを予定してください。このように細かく想定して記入しましょう。

肝心なのは何がしたいのか、どんな方向性を考えているのかを市に伝えることです。市はできるだけのアドバイスを用意しています。市民がソフトを考え、市がハードで支援します。補助金はそのシステムを円滑にする潤滑油なのです。

こんな助成金もあります

名　称	受　付	分　野	主　催
DV防止等民間活動助成	4月頃	DV防止	東京ウィメンズプラザ
スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム	5月頃	スポーツ	住友生命健康財団
ファイザープログラム	6月頃	心とからだのヘルスケア	ファイザー株式会社
ベネッセの学習支援活動助成	11月頃	学習支援	ベネッセこども基金
ゆめ応援ファンド助成	12月頃	市民社会の創造	東京ボランティア・市民活動センター
中央ろうきん助成プログラム	12月頃	ひと・まち・くらし	中央ろうきん
ドコモ市民活動団体への助成	3月頃	子ども	NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド
テックスープの助成	年間を通じて	リサイクルパソコン＆ソフトウェア	テックスープ・ジャパン